



DOGMA[®]XC
OFFROAD(R)EVOLUTION

2013

DOGMA[®] XC 9.9

Carbon Torayca[®] 60HM1K

Nanoalloy[™] Technology

Frame Asymmetric

ONDA XC[™] Twin Arms Asymmetric Rear stay

PINAFIT[™] Geometry

Fork Stopper[™]

XPOWER[™]

RAD[™] Rear Arm Asymmetric

PF30[™] PressFIT BB

SOE Simulation Optimize Evolution

マテリアル : Carbon 60HM1K Torayca[®]
リアステイ : Onda XC[™] Carbon 60HM1K
フレーム重量 : 1050 gr (Size M)
ボトムブラケット : プレスフィット30
サイズ : S, M, L, XL, ※L, XLは受注発注

希望小売価格 : フレームセット ¥399,000-

フォーク : FOX FACTORY 32 FLOAT 29 FIT CTD REMOTE, KASHIMA COAT , TRAVEL 90, 9MM OPEN DROPOUT, 1.5" 1-1/8" TAPERED

CTD リモートレバー : FOX 2013 CTD REMOTE LEVER-SINGLE

CABLE-UPPER RIGHT/LOWER LEFT

ヘッドセット : FSA INTERNAL ALLOY CUPS, ACB 1-1/8"

UPPER, 1.5" LOWER,

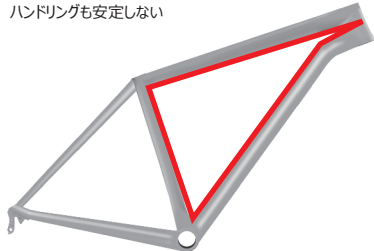
PINAFIT[™] XX9

ピナレロはより扱いやすく、安定性があり、反応性を良くする角度をダウンチューブに与えるために新しいデザインを開発しました。



Traditional Frame Design

ダウンチューブの位置は好ましくなく、一体感に欠け、ハンドリングも安定しない



ピナレロはロード・カテゴリーにおいて最も成功したモデルを作ったのと同じ哲学を持ってオフロード・サイクリング・プログラムをスタートいたします。ロードレーサーのための先進的な考えと常識を覆すアイデアで知られている歴史的なバイシクルブランド、ピナレロはオフロード・プラットフォームのパフォーマンスとスピードを向上させる解決策に積み重ねてきた知識を応用しました。

ハードテイル・MTB フレームでは新しいアイデアは出尽くしたと一般的に考えられてきた事に対し、新しいDOGMA XC 9.9 はONDA XC Asymmetric Twin Arm にみられるような数多くの先進的な解決策を示したイノベーションの著しい例です。

ONDA XC[™] Asymmetric Twin Arms

この新しい革命的なシステムは垂直と横方向にシートステイを切り離すことによって、より大きい均一な表面積で振動を打ち消します。そして反応性を損なうことなく、他のハードテイル・MTB とは比較にならない快適性を得る事ができます。

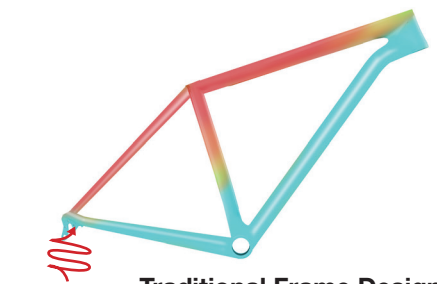
ピナレロはロード・カテゴリーにおいて最も成功したモデルを作ったのと同じ哲学を持ってオフロード・サイクリング・プログラムをスタートいたします。ロードレーサーのための先進的な考えと常識を覆すアイデアで知られている歴史的なバイシクルブランド、ピナレロはオフロード・プラットフォームのパフォーマンスとスピードを向上させる解決策に積み重ねてきた知識を応用しました。

ハードテイル・MTB フレームでは新しいアイデアは出尽くしたと一般的に考えられてきた事に対し、新しいDOGMA XC 9.9 はONDA XC Asymmetric Twin Arm にみられるような数多くの先進的な解決策を示したイノベーションの著しい例です。

ピナレロ・ラボのエンジニアたちは、伝統的なハードテイル・フレーム・デザインを見て安定性と快適性を高めようとしてきました。従来のフレームは、リアホイールからの振動と衝撃が左右のシートステイとシートチューブ、トップチューブの接合部を通じてダイレクトにトップチューブに影響していました。そこでピナレロはシートステイの一方をトップチューブよりわずかに高い位置に移動することによってフレームを2つの別々のトライアングルに分割し、リア・トライアングルからダイレクトにトップチューブへ伝わる振動や衝撃を緩和し安定性を高めました。

リアトライアングルは快適性を向上させるだけでなく制動力も改善するために再構築されました。ピナレロは伝統的なリアブレーキの配置を改め、ブレーキマウントをチェーンステイに移しました。チェーンステイはフレームの反応性に強く関わるチューブです。そしてブレーキをチェーンステイに移すことにより、フレームの構造全体をより効果的により強くすることが可能になりました。非対称デザインのリアトライアングルにブレーキを装着することにより対称的に制動力を伝えることを保証します。

エンジニア達はマウンテンバイク・フレームのシートポスト・クランプにも改善する余地があることを見つけました。新しいシートポスト・クランプは4つのボルトでシートポストを直接固定する革命的なデザインを採用しています。



Traditional Frame Design

PINAFIT[™] XX9 Geometry

これまでのMTB フレーム・メーカーの設計では、フロントフォークの影響を避けるためダウンチューブを高い位置に持つてくる必要がありました。これは効果的な幾何学構造をデザインするための制限となっています。パフォーマンスを向上させるためには正しい幾何学的構造を優先させる必要があります。ピナレロはより扱いやすく、安定性があり、反応性を良くする角度をダウンチューブに与えるために新しいデザインを開発しました。

ForkStopper[™]

正しい幾何学的構造を考慮しフロントフォークがダウンチューブに接触する問題を解決するため、転倒などの事故の際にフレームとコンポーネントを保護するためのフォーク・ストップ・テクノロジーを開発し取り入れました。

DOGMA XC 9.9 ではケーブル・ルーティングと変速の確実性も解決しています。内装されたケーブルは水や泥などの汚れから完全に保護され、長時間に渡る確実な操作性が保証されています。

インテグレートッド・フロント・デイレイヤーは、非対称なシートチューブの重要な位置にマウントされました。ユーザーがどのようなパーツを選択しても正確なシフティング・パフォーマンスを得るためには正しい角度で取り付けることが重要です。これを解決するためにピナレロは、同じフレームで2つのケーブル・ルーティングを選択できるシステムを取り入れました。それはSRAM とシマノのコンポーネントに対応しています。

ピナレロは新しいマウンテンバイク・フレームを作る際にもコストを度外視し、世界的に有名なロード・フレームを作るために採用したのと同じ最高の材料を用意しました。DOGMA XC 9.9 にはピナレロに独占供給されるカーボン素材が使われています。トレカ・60HM1K ナノアロイ・テクノロジー。驚異的な特性を持つトレカのNanoalloy[™]テクノロジーは、カーボンファイバー・メッシュに均一に配置されたナノ粒子を持ち、カーボン・コンポジットに衝撃が加わった際の亀裂が広がるのを防ぎ、致命的な破壊を軽減することができます。Nanoalloy[™]テクノロジーによる新しい60HM1K カーボンは、従来のカーボンファイバーより59% 剛性が高く、トータルで29% 高いアドバンテージを得ています。ピナレロは、トレカ 60HM1K Nanoalloy[™]のように高い耐久性を持つ信頼性の高い材料を使用することにより、安定性と安全性を著しく向上させているにも関わらず、従来のカーボン・ファイバーよりも少ない材料でフレームを作ることができ重量の軽減も実現しています。



XPower™ DOGMAXC

さらに剛性があり、シートチューブに負担をかけない新しいデザイン。



Traditional SeatPost Closure

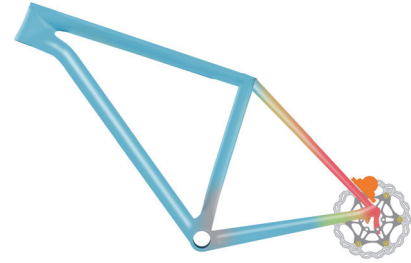
剛性が不足し、シートチューブにも負担をかけている



RAD™
REAR ARM DISK



Traditional Brake Disk Position



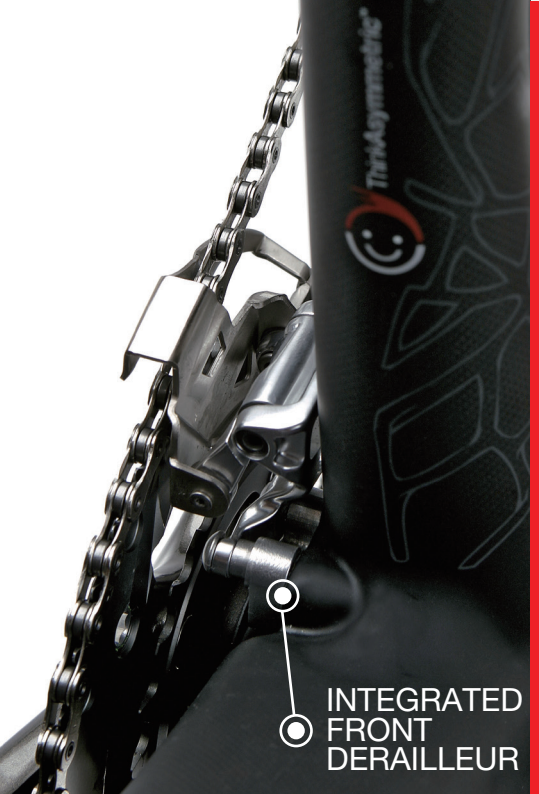
RAD™

ピナレロは伝統的なリアブレーキの配置を改め、ブレーキマウントをチェーンステイに移しました。チェーンステイはフレームの反応性に関わる強いチューブです。

そしてブレーキをチェーンステイに移すことにより、フレームの構造全体をより効果的により強くすることが可能になりました。

非対称デザインのリアトライアングルにブレーキを装着することにより対称的に制動力を伝えることを保証します。

RAD is better braking.



INTEGRATED FRONT DERAILLEUR

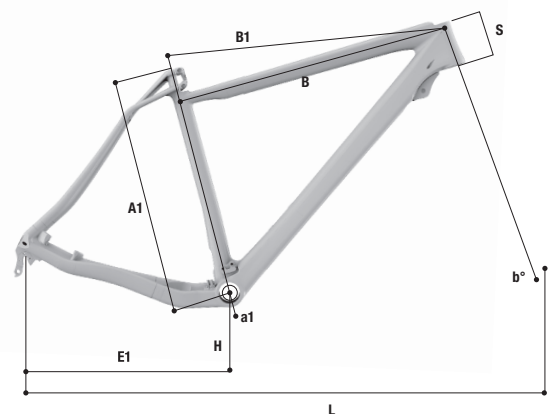


SRAM

SHIMANO



ONDA XC™ Asymmetric Twin Arms



DOGMA XC 9.9

	A1	B1	B	S	E1	L	H	a°	b°
S	430	574	557	92	440	1082	302	73,50°	70,00°
M	465	593	575	92	440	1095	305	73,00°	70,00°
L	500	617	585	97	440	1118	305	72,50°	70,00°
XL	540	637	612	115	444	1136	305	72,00°	70,00°



PINARELLO JAPAN 072-238-0039 info@pinarello.jp www.pinarello.jp
※写真の完成車と日本へ入荷するパーツ仕様は異なる場合があります。印刷のためカラーは実際と異なって見える場合があります。カタログ請求については弊社ウェブをご覧ください。製品に関するお問い合わせは弊社もしくは全国のピナレロポイントへ

ピナレロは最も優れたロードフレームを作るために、世界中で利用可能な最も優れた素材を利用するためにコストを掛けることを惜しみません。マウンテンバイクの開発にもその考えは継承されています。

DOGMA XC 9.9を形作る特殊なカーボンファイバー：
 60HM1K by Torayca® with Nanoalloy™ technology
 Torayca®は、この5年間の我々へ独占的に特別なカーボン素材を供給してくれたパートナーです。日本を本拠とする繊維素材メーカーであるTorayca®は、特別なファイバー製品を生産できる能力を持ち、最も重要な航空宇宙と自動車産業に素材を供給できる生産テクノロジーと新技術を開発する革新性を併せ持つ素材分野での世界的リーダーです。その中でも炭素繊維を主要製品とするTorayca®デビジョンは、新しく発展させた60HM1K Nanoalloy™テクノロジーをピナレロに提供しています。

Torayca® 60HM1K Nanoalloy™のように高い弾性率を持ち信頼できるカーボンファイバーを使うということは、従来の繊維と比較してより少ない材料で軽く作る事ができ、しかも安定性と安全性は高く保たれます。ひどく衝撃を受けた時にカーボンファイバーは折れます。それは明らかに安全に対し危険な状態で、サイクリストを傷つける恐れのある破片が飛散し事故に繋がる恐れがあります。東は繊維が断裂しカーボンボジットの破壊の可能性を高める微細なひび割れが広がるのを防ぐ技術を開発し、この安全性に関わる問題を解決しました。Torayca® Nanoalloy™テクノロジーとは、ナノ粒子を炭素繊維メッシュに分散させて、衝撃を受けた繊維の破壊を防ぐ技術です。私たちが使用している60HM1Kカーボンファイバーは従来のカーボンファイバーより衝撃に対して29%強く、Nanoalloy™テクノロジーを入れた60HM1Kカーボンファイバーはさらに23%も衝撃に耐え強くなっています。それは従来のカーボンファイバーと比較して59%も衝撃に強いという特性を持っています。

航空宇宙産業レベルのカーボンファイバーが、あなたが表彰台にあがるための大きな助けになるでしょう